

# 先輩からのメッセージ



さいたま支局 広報室 主任  
平成24年採用 一般職(行政)

## 「造幣局」を国内外に発信

### ●現在の業務内容

さいたま支局広報室では、支局におけるイベントの企画や、各種メディア対応、博物館の運営等を行っています。造幣局は、公的機関としては珍しく大阪に本局を置いているため、さいたま支局は、首都圏から造幣局を発信するという重要な役割を担っています。その中で、私が担当しているのは、より良い情報発信を行うためのコンテンツの充実化です。例えば、事業案内ビデオの刷新や展示説明の多言語化等を行っています。また、学生時代の専門であった英語を活かして、海外関係者の方をご案内することもあります。広報室では自分自身の考えや創意工夫を業務に反映するチャンスが多く、やりがいを感じています。

### ●造幣局を志望した理由

最初から造幣局を志望していたわけではなく、合同説明会等で偶然造幣局の業務を知ったのがきっかけです。公務でありながら製造・販売でもあるという点や、高い技術をもって海外に対し日本を発信することができるという点に惹かれ、造幣局で働いてみたいと思うようになりました。

## Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公務でありながら製造・販売業でもあるという珍しい機関です。他の公務員の職場ではなかなか経験できないような仕事が多くあります。公務員志望の皆さんの中で、好奇心やチャレンジ精神が旺盛な方には、ぜひ造幣局の業務説明会等に参加し、造幣局の業務を知っていただきたいと思います。

### ●今後の展望

以前は海外販売室に所属し、海外に対して日本の造幣局を発信する仕事をしていました。現在の部署では、これまでと立場や業務内容は異なりますが、造幣局の魅力をより多くの人に知ってもらえる仕事であるという点で、共通していると感じています。今後も様々な部署で経験・スキルを積み、国内外における造幣局の存在感を高めることに貢献していきたいと考えています。



## 「造幣局の情報セキュリティを守ります」

### ●現在の業務内容

情報システム課では、局内のパソコンやネットワーク等の管理業務を行うほか、各部署で使用されている業務システムの運用支援を行っています。造幣局ではERPシステム(統合基幹業務システム)をはじめとして各種の業務システムが導入されており、情報システムの適切な運用は、効率的な業務の運営において必要不可欠です。また、情報セキュリティにも注意を払う必要があり、情報処理機器の安全確保は、局全体を支える重要な業務と言えます。

情報システムの世界は日々進化していますので、自身の知識を深めるため、勉強の日々です。

### ●造幣局を志望した理由

公務員を志望するにあたり、私自身が理系の学部にも所属していたことから、「モノづくり」に関わりたいたと考えていました。そのような思いを持ちながら業務説明会に参加したところ、貨幣製造を通じて培われた技術力の高さ、信頼度の高さに魅力を感じました。

### ●やりがいを感じる時

ERPシステムの運用に関して、年度更新作業を任されたことです。ERPシステムは、在庫や会計に関する情報が連携し合っており、データに不備がないことを確認したうえで、次年度の会計情報処理に必要な膨大なマスタ情報を登録します。限られた時間の中、手順通り確実に対処する必要があり、途中、様々な問題に直面しましたが、上司に相談しながら一つずつ解決し、無事終了したときには、安堵感とともに、やり遂げたことに対する大きな達成感を感じました。



総務部 情報システム課 係員  
平成30年採用  
一般職(電気・電子・情報)

## Message 学生のみなさんへ

造幣局に限らず、業務説明会に参加し、実際に働く職員の声聞いてください。採用パンフレットやインターネット情報だけでは発見できないことや、自分が本当にやりたいことが見つかると思います。また、学生の間に様々な経験をしてください。どんな経験であっても、いつか役立つときが来ると思います。

## 「国の予算編成に携わっています」



### ●現在の業務内容

私は現在、財務省主計局に出向し、各省庁の予算の査定をしています。具体的には、秋口に行われる各省の予算要求とヒアリングをもとに、より効率的な資源配分となるよう来年度予算を作成していく仕事です。適切な予算を組み上げるためには相手省庁の事業を理解することが不可欠で、私も担当課の方々と日々連絡を取り、事業内容を教えて頂き、時に事業の方針について議論しつつ、予算を組み立てている毎日です。このような作業を踏まえて、自分が担当

する予算が組み上がったときは感慨深さを感じ、それまでの疲労感が吹き飛ぶような感覚です。主計局では、触れるもの全てが新鮮な感覚が続いています。

### ●造幣局を志望した理由

社会基盤を構築・維持する仕事に携わりたいという面から元々インフラ関係を志望していたこともあり、現業部門を保有している造幣局に興味を持ち説明会に足を運んだところ、働いている方々の人柄に惹かれ、志望しました。また、勤務地が大阪、さいたま、広島と、都市部に近いという点も魅力の一つです。

### ●これまでの仕事で印象に残っていること

現在、他の独立行政法人の予算について担当者と日々議論をしています。事業の目的は何か、どのような成果が出ているのか、優先的に行うべきものか、積算は妥当か等々、議論すべき事項は尽きません。予算の査定業務を経験したことは、造幣局において予算を要求する際に、大きく役に立つであろうと期待しています。



財務省 主計局 係員  
平成30年採用 総合職（経済）

## Message 学生のみなさんへ

就職活動において、公務員を含め、将来の働き方について検討されているかと思いますが、その機会を大事にしてください。視野を広げるためにも、幅広い分野の話聞いてみることをお勧めします。その中で造幣局に興味を持っていただけなら、一度説明会に足を運ばれてはいかがでしょうか。



貨幣部 管理環境課 主任  
平成28年採用  
総合職（工学）

## 「時代が変わっても変わらないモノづくり」

### ●現在の業務内容

私は主に、500円から1円の通常貨幣を製造するための作業計画の立案業務に従事しています。貨幣となる材料を溶解する工程から、完成した貨幣を袋詰めするまでの工程について、機械の能力・台数や作業員数を勘案して作業計画を作成します。ただし、全てが当初の計画通りに進むわけではなく、予期せぬ事態が発生した時には、関係部署と調整を図り適宜見直します。本支局の各工程が効率的に機能するよう計画を立てる必要があり、責任が重く大変なことも多いですが、その分やりがいのある業務だと感じています。

### ●造幣局を志望した理由

正直なところ、造幣局は数ある志望先の一つでしたが、官庁訪問を進める中で、造幣局のことをより知りたいたいと思いました。貨幣という誰にでも身近なモノの製造を行っているということに自分も携わりたいと思い、造幣局への志望を決めました。

### ●これまでの仕事で印象に残っていること

現職の前は、財務省に2年間出向し、造幣局や国立印刷局と連携を取りながら、偽造通貨の対策や記念貨幣の発行等業務に携わっていました。その中で最も印象に残っているのは、改刷・改鋳の業務に携わったことです。改刷・改鋳は、世間一般にも大きな影響を与える出来事であり苦労も多かったですが、そこで得た経験が今の自分の成長に繋がっていると感じます。



## Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公的機関でありながら「モノづくり」を行っているので、その業務は多岐にわたります。そのため、どのような専門分野の方でも、自分の能力を生かせる場が必ずあると思います。誰にとっても身近で、かけがえのない貨幣の製造に興味がある方は、是非造幣局で共に働いてみませんか。